

文教大学 情報学部 経営情報学科 根本研究室

2011年 卒業研究 テーマ発表

根本研究室 14期

久保田 敬介



目次

◆衆議院小選挙区制度に関する研究

1. 概要

1-1. 衆議院の選挙制度について

1-2. 区割とは

1-3. 小選挙区の区割について

1-4. 一票の格差

1-5. 一票の格差と最適区割

2. 研究内容と方向性

2-1. 研究内容

2-2. 方向性



◆衆議院小選挙区制度に関する研究

1. 概要

1-1. 衆議院の選挙制度について



定数480名

小選挙区比例代表並立制



小選挙区制選挙 300名

比例代表制選挙 180名

小選挙区制選挙

選挙区数：300区



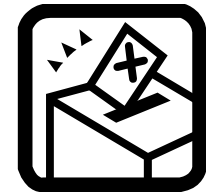
全国を300区に分割
各区で最多得票者1人を選出

比例代表制選挙

選挙区数：11区



全国を11ブロックに分割
各ブロックで党ごとの得票数に応じて議席を分配



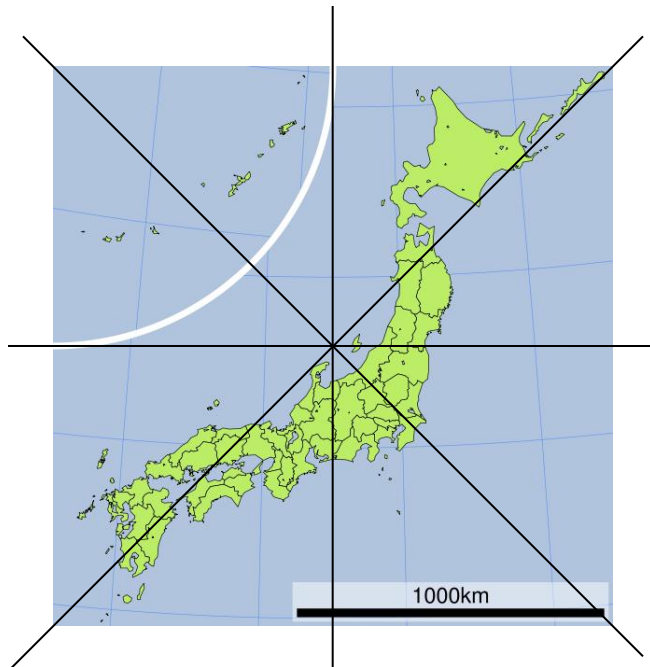
◆衆議院小選挙区制度に関する研究

1. 概要

1-2. 区割とは

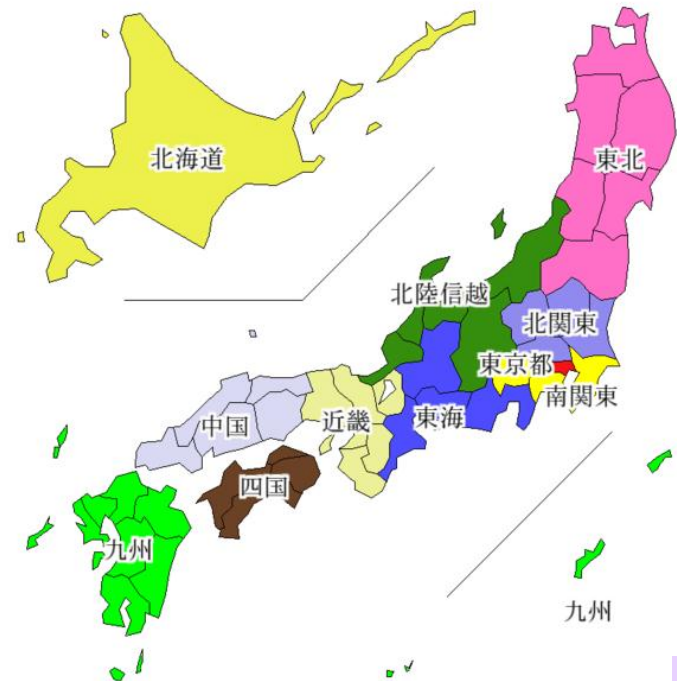
小選挙区制選挙

全国を国勢調査の人口の値を元に300区に分割
→各都道府県内を複数に分割



比例代表制選挙

11ブロックに分割→各ブロックに定数分配



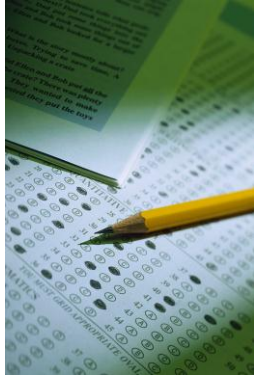
◆衆議院小選挙区制度に関する研究

1. 概要

1-3. 小選挙区の区割について



◆時間的ルール



2000年10月：大規模国勢調査

2000年12月：国勢調査の結果公表

2001年12月：区割案提出

2002年：区割り決定

2010年10月：大規模国勢調査

2011年 2月：国勢調査の結果公表

2012年 2月：区割案提出（予定）

「国勢調査の結果による人口が最初に官報で公示された日から1年以内に行うものとする」

（衆議院選挙区画定審議会設置法 第4条）

◆区割りの際の主なルール

- 一人別枠方式：人口を元に区割する前に各都道府県に定数1（全47議席）を分配する
→ $300-47=253$ 議席を人口比例で全国分配
- 一票の格差は2倍未満
- 大都市や過小人口選挙区を除き，市区町村を分割しない
- 選挙区内で飛び地をつくらない（地域の繋がりを考慮する）



◆衆議院小選挙区制度に関する研究

1. 概要

1-4. 一票の格差



100万人の選挙区



1万人の選挙区

各選挙区から選出は1人

一人あたりの票の重みは？



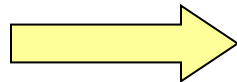
一票の格差問題

◆衆議院小選挙区制度に関する研究

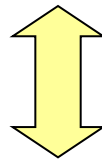
1. 概要

1-5. 一票の格差と最適区割

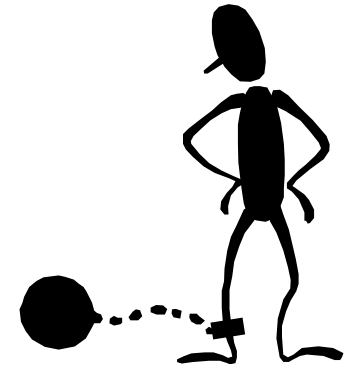
2009年8月の衆院選（2002年作成の区割）
最多：千葉4区（48万9437人）
最少：高知3区（21万2376人）
→格差2.305倍
（46選挙区が2倍を越えた）



現状の制度では2倍を下回ることは不可



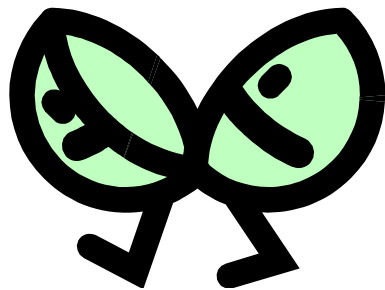
現状よりも是正することは可能（一票の格差からみた最適な区割が存在）



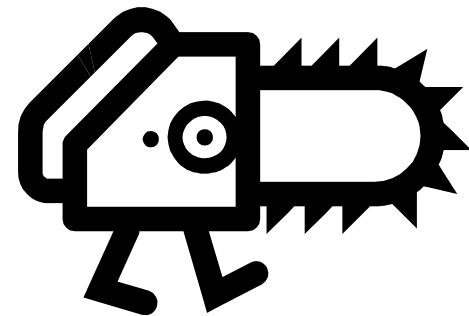
◆衆議院小選挙区制度に関する研究

2. 研究内容と方向性

2-1. 研究内容



実際の区割



理論上最適な区割

一票の格差における最適区割と実在区割の差異分析

◆衆議院小選挙区制度に関する研究

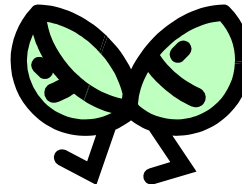
2. 研究内容と方向性

2-1. 方向性

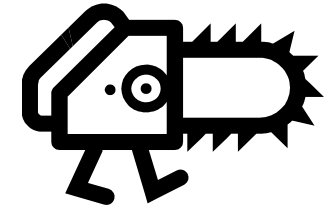
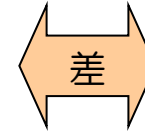
◆差の表現

- 差を表現するための指標（尺度）を設ける
- 全国から一部の都道府県を抽出し、実際に差を導出
- 差の大きさによる一票の格差や全体のバランスに与える影響度を分析

◆差を求めるメリット



実際区割



最適区割

